

## 第4回月山龍神マラソン参加者募集！～名水百選・歴史の里・味覚マラソン～

日本百名山の「月山」、平成の名水百選「立谷沢川」流域の自然を満喫し、名水の恵みを受けた「日本一おいしい米の里」庄内の秋の味覚を楽しんでもらいながら、地域住民との触れ合いを大切にしたいマラソン大会を実施し、ランナーも地元の方も一緒に喜んで楽しんでいただけるマラソン大会を目指します。

- 開催日時：10月13日(日) (雨天決行) ●開催地：清川グラウンド (庄内藩清川関所隣)
- 参加定員：1,000人 (定員になり次第、申込みを締め切ります)
- コースと区分、時間等：

種目	スタート	種目区分	定員
《1.2キロ 親子ペアコース》 (スタート～清川駅折り返し～ゴール)	10:15～	幼児・小学3年生までと親の2人ペア	150組
《3キロ コース》 (スタート～清川駅折り返し～清河八郎記念館～ゴール)	9:50～	小学4～6年生の部 (男女) 中学生の部 (男女) 一般の部 (高校生以上の男女)	100人
《5キロ コース》 (スタート～生繰沢折り返し～ゴール)	9:30～	一般の部 (高校生以上の男女)	100人
《10キロ コース》 (スタート～清川駅折り返し～生繰沢～中島折り返し～ゴール)	9:10～	一般の部 (高校生以上の男女)	200人
《ハーフマラソン》 (スタート～清川駅折り返し～生繰沢～立谷沢出張所～自転車道～松野木～ゴール)	8:45～	一般の部 (高校生以上の男女)	300人

●参加費：

一般	4,000円	高校生	1,500円	中学生以下	1,000円	親子ペア	2,500円
----	--------	-----	--------	-------	--------	------	--------

※当日、清川地内において通行止めになる箇所がありますので、付近の方々のご協力をお願いします。  
【清川駅前～清川グラウンド前】 8:20～11:00 【清川グラウンド前～成澤医院前】 8:20～12:00

- 表彰：各区分3位までおよび遠来賞  
ハーフマラソン総合優勝者(新米1年分)、10キロコース総合優勝者・庄内銀行賞(新米半年分)
- 参加賞：参加者に完走証、記念タオル、特産品セット、つや姫新米おにぎり、名物芋煮汁、おもてなし弁当等サービス
- 申込方法：【インターネット】ランテス・イーマラソン・スポナビD○  
【郵便振替】大会パンフレット添付の払込取扱票に必要事項を記入し、お近くの郵便局で参加料を添えてお申込みください。

- 申込期限：8/9(金)
- ※早期申込特典：5/31(金)までに申込みされた方(参加料納入済)に「つや姫・しょうゆの実セット」プレゼント！(先着300人)
- ゲストランナー：三井住友海上プレーイングアドバイザー 渋井陽子氏 (ランナーとして10kmコース走行)
- 駐車場：東興野の最上川河川敷 900台 ※当日は、シャトルバスを運行します。

### ゲストランナーとの前夜祭

- 日時：10/12(土) 17:30～
  - 場所：クラッセ内レストラン「やくけっチャーの」
  - 参加費：2,000円
  - 募集定員：先着50人
- ゲストランナーからのプレゼントあり！



渋井陽子氏

▶ランテス



▶イーマラソン



ボランティアスタッフ募集  
マラソン運営にスタッフとして  
お手伝いいただける方、募集します。

■問合せ：月山龍神マラソン実行委員会事務局(庄内町観光協会) ☎0234-42-2922

# 広報委員 放浪記



## 第一学区唯一の文学碑

◆撮影場所 第一学区 西野

西野集落に入り、しばらく道なりに進むと神社があり、その境内の中に第一学区内では唯一とされている文学碑があります。余目地域には5基の文学碑があり、そのうちの1つがここにあるということになります。その碑には「雲はれて心もきよし法の道」と詠まれており、言い伝えによると、当時、谷地地区(今の酒田市門田)で隣村との境界争いが絶えず続き、その問題をようやく解決することができて西野村を去るときに、西野村を開発した当時の大庄屋だった川俣治兵衛の末孫と思われる川俣主膳次郎という人が、感慨深くそのときの心境を詠んだものとされています。「川俣之末孫行年五四歳」銘。また建碑年月日不詳となっています。西野集落にはそのほかにも多くの石塔があり、古峯神社、庚申塔、甲子塔があります。興味のある方はぜひ足をのばしてみませんか？



●取材/広報委員 齋

## 自分らしくいきいきと！

◆添津 乙坂賢太さん

庄内総合高校の卒業生で、仕事と趣味を通して庄内ライフを日々楽しんでいる青年を紹介します。卒業後は、高校時代のバイト先のAコープあまらめに就職、今年4年目を迎えました。話しやすい先輩方からやりがいを感じているそうです。高校時代はバスケットと音楽に打ち込み、現在も続けています。車とドライブも好きで、休日は良い景色を求めて小高い場所まで愛車を走らせています。友人達との楽しく充実した高校時代があったからこそ、卒業後も地元で働き暮らそうと思えることができ、現在も充実した日々を送っているという乙坂さん。いきいきとした姿がとても素敵ですね！



◀乙坂さん(中央)と職場仲間

●取材/広報委員 佐

## 庄内町の文化財

須恵器 墨書坏

坏は、平安時代後期に当地に住んでいた人たちが、日常雑器として広く使用したものとされています。この坏は、昭和29年10月1日に廿六木の台地内の畑から、三枚重ねた状態で出土したうちの二枚です。もう一枚の所在はわかりません。

右側の一枚は底部に「子」、左側の一枚は胴部「子」「全」と淡灰色の墨書がみられます。大きさはほぼ同じで、器高3.8cm、径口13.3cm、底6.0cmあります。仏教や寺院に關係する遺物と推定されました。昭和57年3月に町指定文化財に指定されました。



底部